



2021年秋 PE/FE受験・登録相談会
2021 Spring PE Exam and Registration Seminar

米国PE制度の概要

October 2021

日本プロフェッショナルエンジニア協会
Japan Society of Professional Engineers (JSPE)

1-1. Professional Engineer (PE) 制度とは (1)

JSPE HP: <https://www.jspe.org/what-is-pe/>

The screenshot shows the homepage of the Japan Society of Professional Engineers (JSPE). At the top left is the JSPE logo, a circular emblem with 'JSPE' in the center and 'Japan Society of Professional Engineers' around the perimeter. To its right is the text '東京都認証 特定非営利活動法人 日本プロフェッショナルエンジニア協会 Japan Society of Professional Engineers'. At the top right is the NSPE logo. Below the header is a dark blue navigation bar with white text: 'JSPEトップ', '団体の概要', '教育研修事業', '調査研究事業', '機関紙発行事業', and 'アクセス'. Below the navigation bar is a main content area. On the left, there is a section titled '米国PE試験、PEライセンスとは?' with social media icons for Facebook, Twitter, and LinkedIn. Below this is a sub-section '米国プロフェッショナルエンジニア(PE)制度とは' followed by a numbered list of 9 links. On the right side of the main content area, there is a search bar with the text '検索' and 'Google 提供'. Below the search bar is a section titled '会員ページ' with two links: '会員ログイン' and 'パスワードを忘れた方'. The '会員ログイン' link has a sub-note: '(会員登録情報の確認・変更はログイン後のメニューにあります)'. At the bottom of the page, there is a footer with '(C) JSPE' on the left and the number '2' on the right.

東京都認証 特定非営利活動法人
日本プロフェッショナルエンジニア協会
Japan Society of Professional Engineers

NSPE®

f t

JSPEトップ ▾ 団体の概要 ▾ 教育研修事業 ▾ 調査研究事業 ▾ 機関紙発行事業 アクセス

↓ 米国PE試験、PEライセンスとは？

f t in

👑 米国プロフェッショナルエンジニア(PE)制度とは

1. [当協会によく寄せられる問合せ](#)
2. [米国PE制度の基本原則](#)
3. [米国PEがカバーする技術分野](#)
4. [PEの押印は公的な許認可手続きか？](#)
5. [PE制度は州により異なるが、学歴、技術試験の根幹要件は全米共通](#)
6. [PE制度を支える米国内諸団体の歴史、関係](#)
7. [米国がPE制度を“輸出”する理由](#)
8. [当協会がNSPEと提携している理由](#)
9. [当協会がビジネス上のお問合せに対して提供できるサービス](#)

検索

Google 提供

会員ページ

🔗 [会員ログイン](#)
(会員登録情報の確認・変更はログイン後のメニューにあります)

🔗 [パスワードを忘れた方](#)

(C) JSPE

2

1-1. Professional Engineer (PE) 制度とは (2)

JSPE HP: <https://www.jspe.org/what-is-pe/>

“PE”とはプロフェッショナルエンジニア(Professional Engineer 専門職技師)の略語であり、各州に置かれたPEボード(Board 規制委員会)が一定の要件を満たす技術者に対し専門職技師としての免許(License)を与えその行動を監督することにより運用されています。……各州のPE法に共通する基本原則は次のようなものです。(参照:[NCEES Model Law](#))

- 公衆の安全、衛生および福利に影響を与える可能性があつて、工学的原理や情報の工学的解釈を必要とする技術的業務については、州政府が認める免許を持つPE(専門職技師)のみに委ねる
- PEの免許は、州のPE規制委員会が認める一定の学歴、実務経験を持ち、所定の試験に合格することにより与えられる。そして免許を持つPEの業務に対して州のPEボードは査問、懲罰等の権限を持つ。
- PE免許は、当該技術者が能力を有すると実証した特定の技術分野別に付与される。

1-2. 日本がPE/FE試験を導入した背景

川村元会長の私見を含む

1980年代 : 日米貿易摩擦 → 独自開発ができる自立エンジニアのニーズ

1995年: WTO 世界貿易機関 成立

TBT協定(貿易上の技術障壁除去)、GATS協定(サービスの貿易促進)

→ 規格の国際化、技術者資格制度の透明化、国際相互認証が必要となる

1996年: 製造物責任者法(PL法)成立 → 法工学に通じたエンジニアが必要となる

文部省(当時)/技術士会

- ・技術士の英名をConsulting Engineer からProfessional Engineer.JPに改称
- ・APECエンジニアとの相互認証を開始
- ・技術士法を改正(2000年)
- ・1999年JABEE設立。2005年ワシントン協定加盟

APEC: Asia-Pacific Economic Cooperation
JABEE: 一般社団法人日本技術者教育認定機構



通産省(当時)/JTTAS(日本工業技術振興協会)

- ・米国NCEES/オレゴン州にはたらきかけ、東京でのFE試験を開始(1994年) また横須賀基地のPE試験を日本人に開放(1996年)
- ・その後JPECがJTTAS業務を継承する(2002年)



NCEES: the National Council of Examiners for Engineering and Surveying
JPEC: 日本PE・FE試験協議会

新たな国際貿易枠組みの動き(TPP等)、JSPEとJABEEとのMOU締結(2016/2) ほか

1-2. エンジニア資格要件の日米英比較

	米国 Professional Engineer	英国 Chartered Engineer	日本 技術士	シンガポール Professional Engineer
言語	英語	英語	日本語	英語
分野数	23	36	21	3
学歴要件	ABET/EAC認定課程 卒	認定する工科大学修 了	JABEE認定課程卒など	認定する工科大学修 了
経験要件	4年以上の実務経験 +5通のリファレンス	英国Engineers Council傘下の分野別 エンジニア協会に入会 すること	4年以上の実務経験 +口頭試問	4年以上の実務経験 +2通のリファレンス +口頭試問
筆記試験	1次:FE試験(四択式) 2次:PE試験(四択式)	なし	1次試験(四択式) 2次試験(記述式)	1次:FE試験(四択式) 2次:PE試験(四択式)
資格更新	1-3年毎の更新手続き 必須。また15h/年の継 続教育が必要。	上記エンジニア協会に 入会し続けること	不要	2年毎の更新手続き必 須。また20h/年の継続 教育が必要。

ABET: Accreditation Board for Engineering and Technology, EAC: Engineering Accreditation Commission

→ 米国PEの特徴は、学歴、試験、経験 各要件のバランスが取れていること

1-3. PEライセンス取得の価値とは？(1/2)

日本人PEへの「PE資格取得を目指した理由」アンケート結果

グローバル	<ol style="list-style-type: none">1. 最もグローバルに通用する技術者資格と考えた2. 国際的なエンジニアのステータスを得る (名刺へのPE記載など)3. 国際的に認知されている資格で、日本で受験が可能である4. PEと一緒に仕事をして影響を受けた
業務上の 必要性	<ol style="list-style-type: none">1. 海外プロジェクト2. ASME規格3. 米国での技術者としての就業
会社、上司、先輩、同期、教授、PEからのスズメ	<ol style="list-style-type: none">1. 海外でエンジニアとして働く上で有利と勧められた2. 外資系や海外での求職に有利と勧められた3. 会社からのスキルアップの要求を満たす
自己研鑽	<ol style="list-style-type: none">1. 英語力の向上と専門技術力の向上 結果として、工学知識の再整理ができた、英語に慣れた2. 高度な技術者倫理を身につける3. 挑戦、自信をつける

出典:JSPEウェブサイト ⇒ PE受験登録に興味のある方へ ⇒ なぜPEになるのか

1-3. PEライセンス取得の価値とは？(2/2)

Global Professional Integrity

- Engineering Competency
- Global Communication Skill
- Accountability/ Business Ethics

キャリア開発

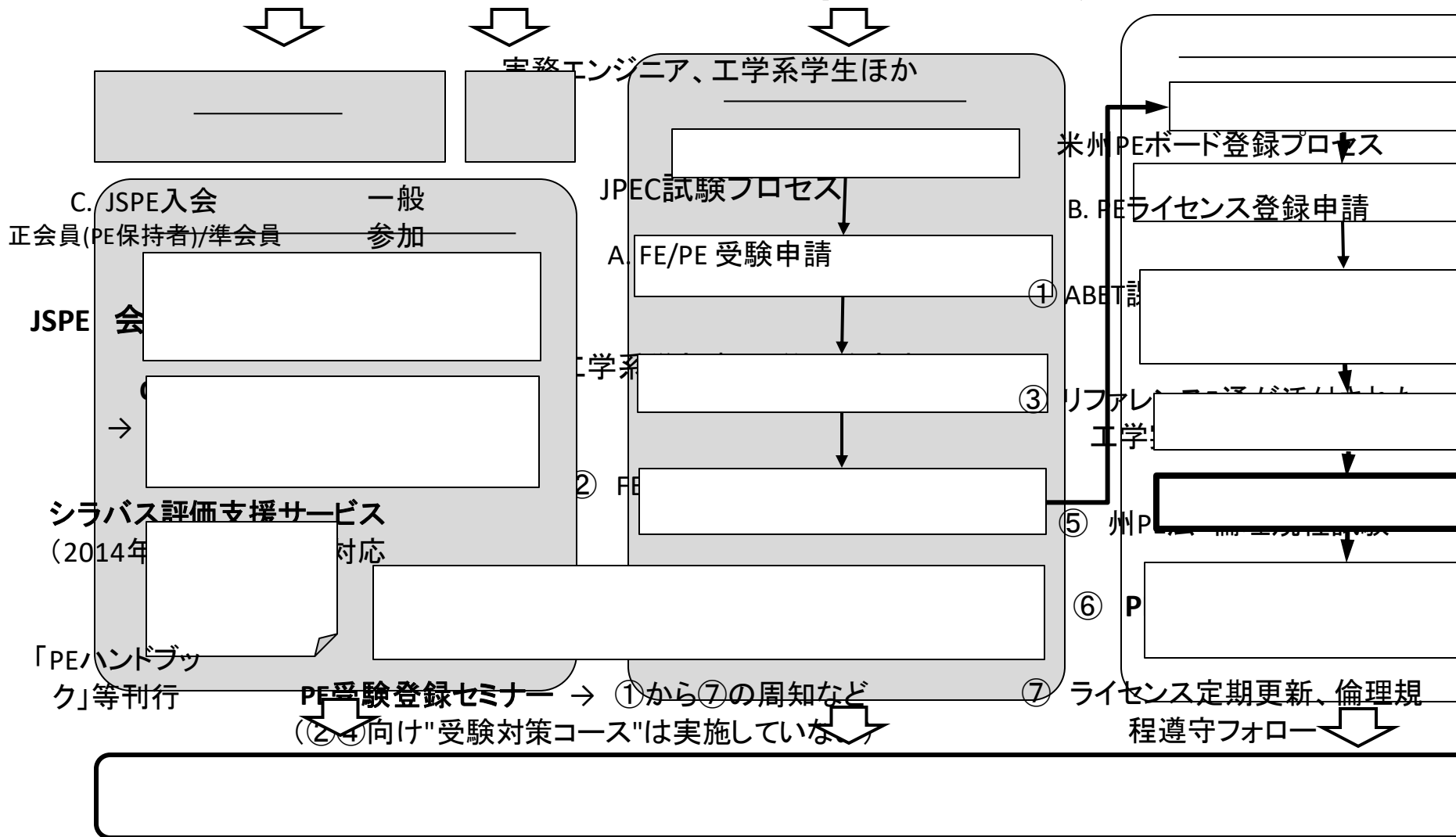
PEは名誉資格
ではなく“普通運
転免許”である

なるべく若いうちに

US Professional Engineer
取得

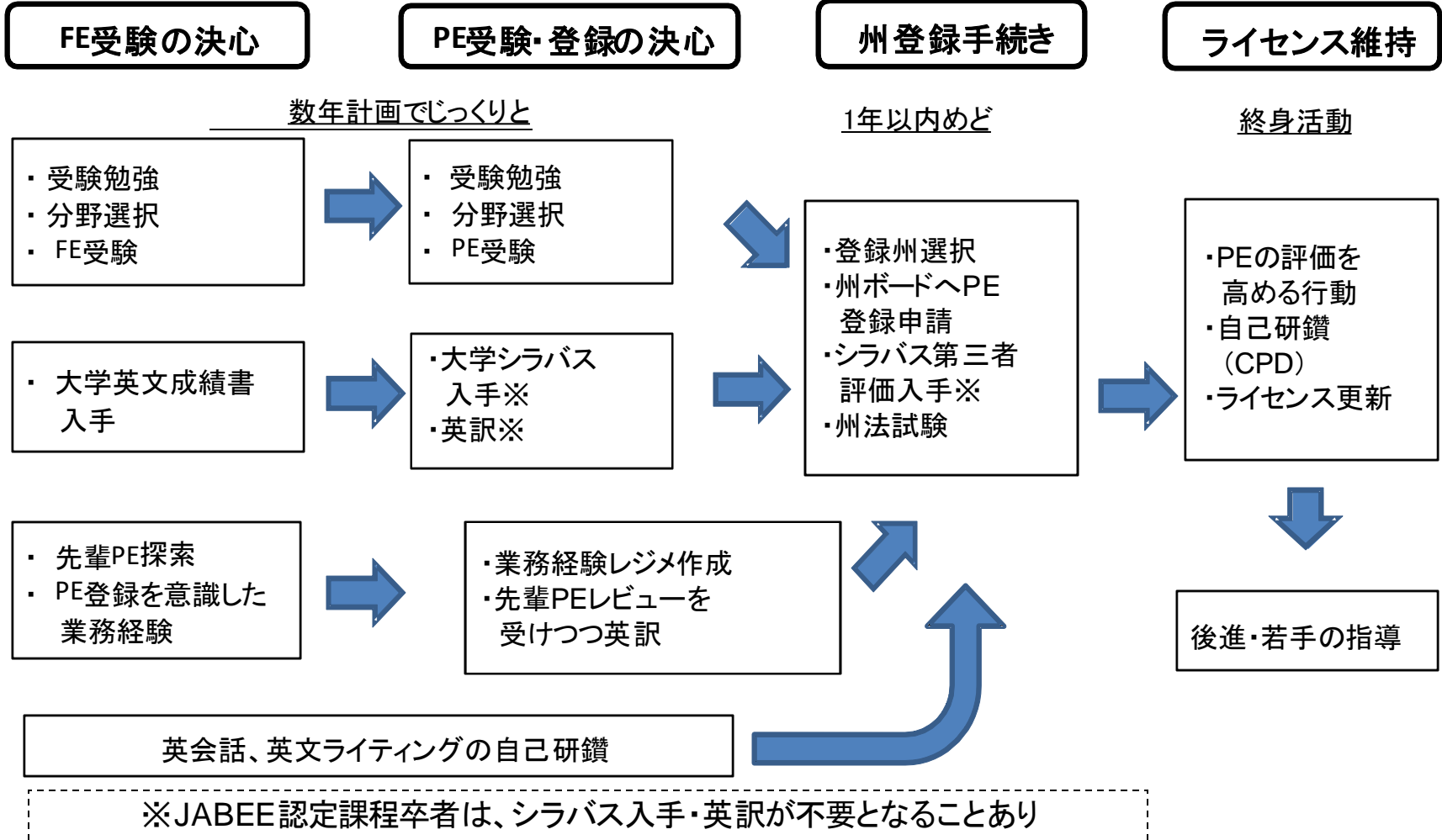
日本の新卒エンジニア

2009年12月 土屋雅彦
前会長の資料より



プロフェッショナルエンジニア を供給し、社会の安全、衛生、福利の向上に貢献する

1-4. PEライセンス取得・維持の流れ(2)



日本人エンジニアがPE登録する場合の流れ

出典:川村:米国のプロフェッショナルエンジニア(P.E.)制度、日本機械学会誌 Vol.23 2020年1月

1-5. 各州PE登録の一般的な手続き(試験以外)

州を問わず共通の手続き (NCEES Model Law/Ruleが規定)

- 学歴提示・・・ ABET認証か同等の工学士課程を履修していること
- 実務経験記述・・・ 4年以上の発展的経験を積んでいること
- リファレンス獲得・・・ 経験裏付けとしてPE3名を含む5名の保証人
- 州法試験通過・・・ 各州のPE法/規則を通読し認識すること

州固有の事情が反映された手続き (各州PE法/規則が規定)

- 英語流暢度証明・・・ テキサス州 (TOEFL試験あるいは英語上司レター)
- 無犯罪証明・・・ テキサス州 (海外留学時手続きに類似。所轄警察署に出向く要)
- 本人証明・・・ デラウエア州 (“ affidavit” 在日米大使館/領事館に出向く)



面倒ではあるが、各州の社会事情なども窺え、勉強になる

1-6. PE登録州選択に関するJSPEポリシー

- 1 NCEES Model LawおよびModel Ruleの登録要件に沿うことを原則とし、個別の州に登録すべきか否か等を評論することはしない
 - 2 会員/非会員が各州ボードに対し行う手続きについては、各州の審査ポリシーを尊重し、審査が円滑に進むよう可能な範囲の支援を行う
 - 3 各州ボードにおける日本人エンジニアの評判が高められるよう、会員/非会員への情報提供と助言に努める
- JSPEウェブサイト「各州PEボード情報」のタブ「PE登録情報」を開くとJSPE会員登録実績のある各州PEボード情報が一覧できる
- SSN(米国社会保障番号)や米国市民権を持たないエンジニアのPE登録を受け入れている代表的な3つの州の現状手続きを次ページに示す。
- 次の州などはSSN保有か米国市民権保有をPE登録時の必須要件としている。 New York, Florida, Louisiana, Michigan, California etc.

1-6.代表的な3州のPE登録要件

2021/9現在	NCEES模範法/規則 Model Law/Rule	1. オレゴン州 State of Oregon	2. テキサス州 State of Texas	3. デラウェア州 State of Delaware
IPEライセンス登録				
1. 費用	規定なし	400 USD	75 USD	150 USD
2. 学歴要件	ABET 認証課程卒またはNCEES CE評価済	ABET 認証課程卒またはNCEES CE評価済	ABET 認証課程卒、WA加盟国認証課程卒※1またはNCEES CE評価済	ABET 認証課程卒またはNCEES CE評価済
3. 経験要件	4年以上の発展的実務経験を有すること	4年以上の発展的実務経験を有すること	4年以上の発展的実務経験を有すること。非ABET/非WA課程卒は8年以上。※2	4年以上の発展的実務経験を有すること。非ABET課程卒は8年以上。NCEES CE評価不適合者は15年以上。
4. リファレンス要件	申請者の実務経験を個人的に知っているPE3名、計5名以上のリファレンス	申請者の実務経験を個人的に知っているPE3名(うち1名は申請者の業務監督者)、計5名以上のリファレンス	申請者の実務経験を個人的に知っているPE3名以上のリファレンス	申請者の実務経験を個人的に知っているPE3名、計5名以上のリファレンス
5. 本人確認等	規定なし	自署サインのみ	米国関係機関による無犯罪証明、英語流暢度宣言(あるいはTOEFL受験)を要求	顔写真を添えて米国大使館/領事館に出頭し、本人確認(affidavit)取得を要求
6. その他			オーストラリアCengとの相互認証プログラムを持ち、WA加盟国認証課程も認知している。	登録申請のほとんどがボードウェブサイト上の電子手続きで進む
IIPEライセンス更新				
1. 費用	規定なし	230 USD/2 year	40 USD/1 year	50 USD/2 year
2. PHD要求	15 Hr/1year	30 Hr/2year	15 Hr/1year※3	24 Hr/2year※3

※1 国際的な技術者資格相互認証を促す国際条約Washington Accord(WA) 加盟国の技術者認証システムのこと。日本の場合JABEE認証課程が相当する。

※2 テキサス州は各経験業務についてA4 1ページ以上の詳細な経験記述(Supplementary Experience Record)を要求する。

※3 テキサス州とデラウェア州は毎年必要PDのうち1Hr程度は工学倫理(Ethics)関連であることを要求している。

1-.7 JPECと6州とのMOUについて

- JPECは次の6州とのMOUを締結している。
Kentucky North Carolina Texas
Missouri Mississippi Tennessee
- これらの6州は日本からの申請者に対し、州独自の条件を好意的に解釈し代替案を提供している。
（例）リファレンスは米国P.E.でなくても、日本または他国のエンジニア・ライセンスをもっているエンジニアでもよい。
- 次のJPEC WEBにこれら6州とのMOUが参照され、日本からの登録申請の際の注意事項が記述されている。
<https://www.jpec2002.org/archives/001/201907/Supplement.pdf>
- 登録申請の際は、州担当者に対してMOUを提示のこと。州担当者がMOUを認識していないこともあり得るので。

MOU=Memorandum of Understanding

*The Future begins with
Engineers and JSPE*